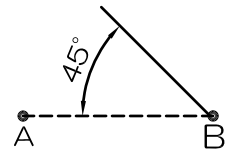


例題

点A、点Bがあります。

$\angle B=45^\circ$ となる線分を作図してください。



解答例 (コンパスと定規で作図)

点Aと点Bを通過する補助線1 (仮の線) を描きます。①

点Bを中心とした、任意の半径で円Bを描きます。②

円Bと補助線1との交点をC、Dとします。

▽

半径をCD間の距離よりやや長い距離として、

交点Cを中心として、円Cを描きます。③

交点Dを中心として、円Dを描きます。④

円Cと円Dとの交点の1つをEとします。

▽

点Bから点Eを通過する半直線mを描きます。「垂線」となります。⑤

▽

点Bを中心とし、任意の半径で円B'を描きます。⑥

円B'と半直線1と交点をFとします。

円B'と半直線mと交点をGとします。

▽

点Fを中心とし、 \overline{FB} を半径とする円Fを描きます。⑦

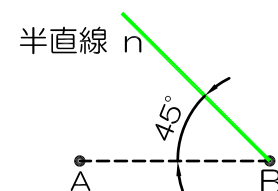
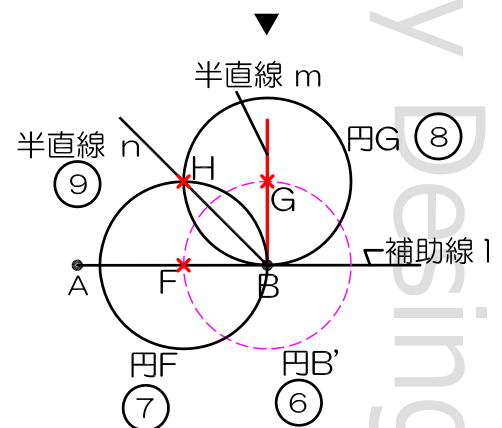
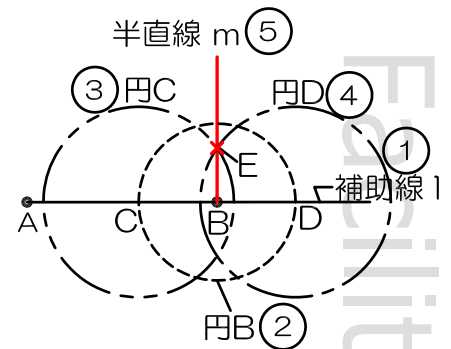
点Gを中心とし、同じ \overline{FB} を半径とする円Gを描きます。⑧

円Fと円Gとの交点をHとします。

▽

点Bから、交点Hを通過する半直線nを描きます。⑨

半直線nと \overline{AB} が 45° となります。



コマンドを使って作図

AutoCADでは、半時計回りを正として角度を指定します。

プラント関係では、時計回りを正とするプロジェクトがあります。

<例> [線分] コマンドで、線分長30単位として 45° の角を作図します。

[作成] ⇒ [線分]

1点目を指定： 点B位置までカーソルを移動してクリックします。①

次の点を指定： 相対座標入力とします。

@30<135 と入力して [Enter] キーを押します。②

つづいて、[Enter] キーを押します。

